

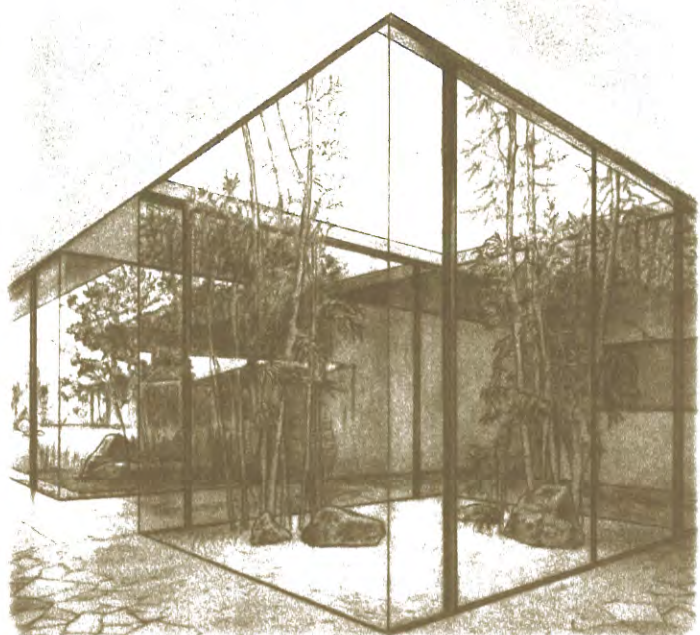
Live in Style

上質な暮らし方を追求するライフデザイン誌 【ライブインスタイル】

株式会社 ハウスプロ

Vol. 79

【特集】 玄関はとっておきのおもてなし空間
◆住人を心地よく迎える露地のある家
◆「おもてなし」VS「普段顔」の2WAY玄関



日本の住宅において玄関はいつから存在していたのでしょうか。時代劇を見ればわかるように、江戸時代の末期以前は農家や町屋というところに玄関はありませんでした。戸を開ければすぐ部屋があったのです。その後、禅宗のお寺をはじめとする仏教の世界において、その門を玄関と呼ぶようになり、やがてお寺の書院や茶室、公家の車寄、武家の入口なども玄関と呼ばれるようになりました。もともと「玄関」は出入口を表す言葉ではなく、中国の老子の「玄妙な道に進み入る関門」が語源。仏教用語で「奥深い、悟りの道への入口」を示していました。入っては汚し、また反省して、美しくする。このような人々の営みを表す場所でもあるのです。書院のような一番良い造り、心の和むところを“玄関”と表現した日本人は、玄関まわりに打ち水をして掃き清め、その周囲を美しくすることに心を配ってきました。土足厳禁とするかわりに土間を設け、そこでの交流を楽しんでいた風景に思いを馳せながら、玄関がいかにおもてなしの空間になるかを一緒に考えてみましょう。

玄関はとっておきのおもてなし空間

清潔ですっきりした家、美しく整理整頓された家は、そこに暮らす人々も、訪ねてきた人も、気持ちよく過ごせるものです。玄関に入ったらいきなり靴が散らかっていたり、スポーツやガーデニングの道具が外に出ているだけで、見た目にも散漫な感じがするだけでなく、悪臭や雑菌の原因にもなり、健康にも良くありません。来客時に「片付ける」というのも悪くはないのですが、できれば家族さえも「おもてなし」するつもりで、常に美しい状態を保ちたいものです。さらに、玄関の一角には季節の草花を添えるよう心がけると、不思議とその空間が整然としてきます。手をかけて育て「日本庭園」を手軽に楽しむつもりで、自然の恵みを用

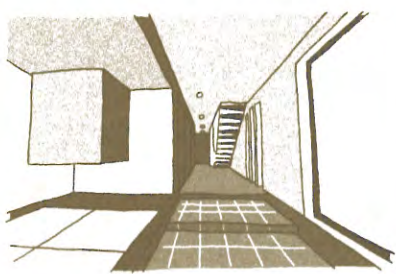


「銀雅堂-水盤S(雪影)」の商品はP4を参照ください

いたおもてなし、してみませんか?

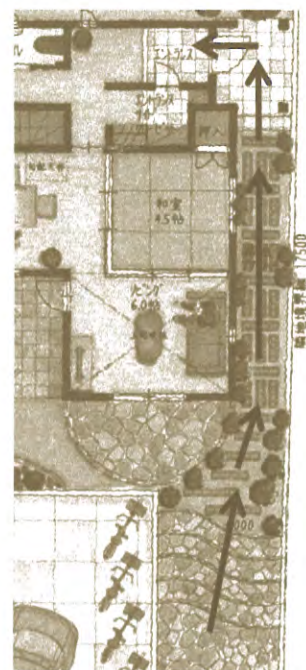
「和モダンな小上がりでホールを演出」

下のイラストは、シックな御影石を使った玄関ホールに、畳スタイルの小上がりをつくり、奥行きを広く見せる工夫をした玄関です。優しい表情で家の中へとお招きするかのような、ゆるやかな階段を取り入れることで、訪れる人をほっとさせる和空間を演出しています。この小上がりの畳スペースは、お茶器や生花などをディスプレイして、和のおもてなしができるだけでなく、コミュニケーションの場としても活躍します。たとえば、家の中へお招きするほど親しくはない知人が来られた際、簡単なお茶はここでお出しできます。あるいは、突然友人が訪ねてきた際に、家の中へあがってもらえなくても、ここで気軽に腰をかけていただき、お話しができるので便利です。子供たちの交流の場として、地域の回覧板の受け渡し場として、銀行などの書類をやりとりする場として、などなど、気軽なコミュニケーションの場として。このような玄関先でのスペースがあると、社交性も自然と身に付きそうですね。



「住人を心地よく迎える露地のある家」

日本独特の茶室や料亭には、長い露地がよく見受けられます。それを模した細く長いアプローチは、それを抜けた向こう側に広がる空間を、大きく期待させてくれる効果があり、それを通常の住宅にも取り入れるデザインが人気です。門扉から玄関までの少しの距離を歩くことにより、外の世から家の中へと気持ちが徐々に切り替わるので、「家路に着いた」との安心感がうまれます。



また、お客様には、この露地を歩いてもらうことによって、「どんなお宅だろう」と想像を膨らませていただける、ちょっとしたおもてなしの空間にもなります。真っ白の壁づたいに、アプローチに沿って砂利を敷き詰めたり、季節の花々を。心に安らぎを与え、訪れた人々だけでなく、住人までをも心地よく迎え入れてくれます。上のイラストのように、備え付けのベンチを設ければ、玄関先だけの挨拶でも憩いのスペースになります。

特集

玄関はとっておきのおもてなし空間

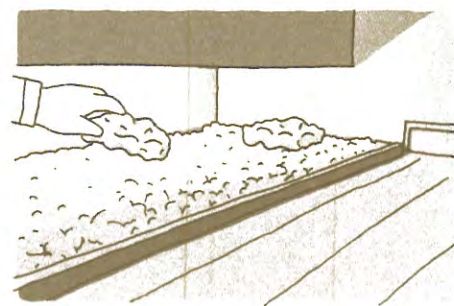
安らぎと憩いの
美しいエントランスで
心地よくお出迎え

★ 手作りインテリアを楽しむ

シューズクローク下を素敵にデコレーション

シューズクローク下の空間は、ただシューズをさっと隠すためだけのスペースと捉えていませんか? 限りある玄関スペースの中で、さりげなくおもてなしの演出が楽しめるアイデアをご紹介します。飾りが終わったら間接照明をほんのりつけて出来上がり。

1. まず100円ショップなどで白い小石を準備します。細長いシューズクローク下のスペース全体に、この石を敷き詰めます。
2. この石をベースにして、何を飾るかは季節ごとのお楽しみです。夏は海で拾った貝殻を。秋や冬は松ぼっくりやどんぐりを。春は桜の小枝など、様々な自然の小物でデコレーションを楽しみましょう。



＜材料＞
マット素材の白い石：適量
季節の小物：貝殻、松ぼっくり、竹、炭、小枝、ドライフラワーなど
(カビが発生しにくいものが理想)

Trend Style

「おもてなし」VS「普段顔」の2WAY玄関で、快適メリハリ生活のすすめ

“晴れの日”つまりフォーマルな場面を設けることで、私たちは生きる喜びを知り、形を整えることで心をも整えることができます。その家の顔である“玄関”にも、生活にどっぷり浸かることなく晴れの日を作ってあげると、そこに住む人々にけじめの精神と自制心を育て、生活にメリハリをつけて豊かに暮らすことができます。

「TPOを考える」ことが広く知られてきたこともあり、玄関の横に大きな収納スペースをつくる家庭が増えてきました。生活感を隠して玄関をスッキリと片付けることで、「来客時にも清潔な玄関で気持ちよくお迎えできる」「スムーズな生活動線になる」方法をご紹介します。



Formal Entrance「おもてなしの玄関」 生活用品を隠して、アートやお花でおもてなし。



お客様が初めに「その家の雰囲気」を感じる場所である玄関。見られたくない生活感のあるモノはすべて見えないところに収納し、玄関ホールには花やオブジェを飾るなど、お客様を気持ちよく迎えるおもてなしの心が感じられる空間演出をしましょう。また趣味の作品の見せ場としても活躍させられます。

このスペースは、「季節のモチーフを使って作品をディスプレイをする」と決めておけば、ゲストをもてなすたびに違う作品が生まれ、季節の草花を飾るのがより楽しみになることでしょう。

訪れるたびにいつも同じ花瓶というのもつまらないですね。かといって花瓶を沢山持つのも収納に困りもの。様々なかたちに変化し、かさばらない器を用意しておくとう便利です。あるときはポプリ、あるときはフルーツ、と入れるものにも変化を。和洋を問わないデザインのものだとなおさら活躍。



「空気の器」はP4を参照ください

快適空間をキープして印象のいい玄関

人との出会いと同様に「第一印象を決める」玄関では、消臭対策をしっかり行っておきたいものです。下のイラストのように、壁面をすべて収納にする場合は、特に湿気やカビに注意しておきましょう。



靴は1日履いたら翌日は通気の良いところで陰干しするのが理想ですが、すぐに靴箱へしまう場合は、丸めた新聞紙や使い捨てカイロを靴の中に入れて、珈琲豆のカスを靴箱に置いておくと脱臭効果が高いといわれています。

おもてなしへの第一歩は、お客様の視点に立つこと

お客様が来られる日は、なるべく早起きして、家じゅうの掃除をしておくことが、「おもてなし」の基本。せめて玄関は清潔に、そして人数分のスリッパを用意しておくようにしましょう。冬の寒い日には、お客様はコートを着たまま玄関に入られることもありますので、コートハンガーも用意しておくとう便利です。また雨の日には、傘やレインコートが濡れているので、エントランスサイドクロー



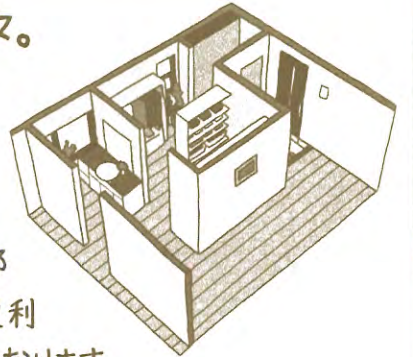
ゼットにてお預かりすれば、玄関を濡らすことなく、お帰りの時間まで安心していただけます。親しい友人になると、スリッパの代わりに、ルームシューズをお出しすれば「心ゆくまでくつろいで」いただきたい、という想いも伝わり、喜ばれるはず。家族以外のお客様用をストックしておきましょう。

ハリスツイードのルームシューズはP4を参照ください

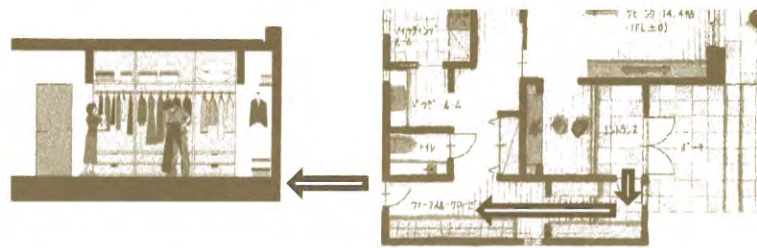
Informal Entrance「普段顔の玄関」 お客様をお待たせしない家族のルール。

通り抜けができる収納で出入りも楽々。 お客様用と家族用の動線を分ける

来客時に家族の荷物や脱いだ上着などが置かれてあると幻滅されますよね。そこで玄関の中に家族用玄関を作り、家族はここを通って奥の部屋と通り抜けられるようにしておけば、来客時に便利だけでなく、普段の生活の上でもとても快適になります。



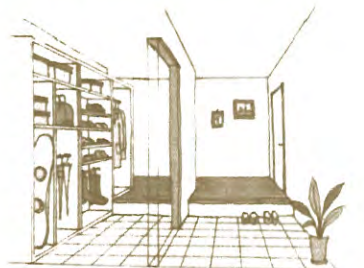
- 自分の荷物をしまいにいくのにお客様をお待たせしない。
 - お客様のコートや荷物、ベビーカーなどをお預かりできる。
 - ここを閉めるだけで、急な来客時にもいつもスッキリキレイに整頓された状態を保て、慌てて片付けなくてもいいので便利。
- メインの来客用玄関はいつもすっきりと美しく保てます。



家族は外から帰ったら、ここを通って直接出入り。靴や荷物・上着などをしまってからリビングへ、と自然に片付ける流れが生まれます。

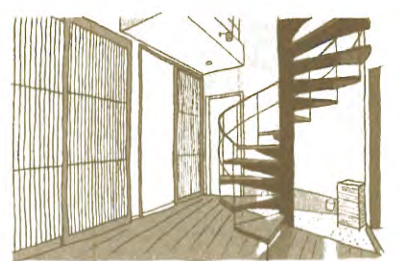
エントランスサイドクローゼットがあれば、美しい玄関でお出迎え

右のように、玄関横にクローゼットを設けて、家族用の靴は全てここへ収納しておきましょう。ドアで間仕切りしておけば、急な来客時にも、玄関部にはモノが何もない状態で美しくお出迎えができます。さらに、クローゼット内に水に強い土間を設けると、雨に濡れたレインコートや傘、ベビーカーなどを玄関先で預かることもでき、お客様にも喜ばれます。花粉の季節には、花粉をリビングまで持ち込まないで済むのもメリットです。



照明を活かしてドラマティックな夜のエントランスを演出

海外の住宅が、とても「雰囲気がいい」という印象を受けるのはなぜでしょう？その理由として、「照明をうまく使っている」という技が見受けられます。特に、北欧のお住まいは、照明の陰影を利用することで、「温かみのある空間」や「ドラマティックな空間」に仕上がっている



ことが多いです。玄関のスペースを広くできなくとも、大胆な陰影がつくペンダントライトを使えば、夜のお客様を温かくお出迎えすることができます。またライトアップ型のスタンドライトを階段や吹き抜けの近くに置くことで、空間を広く見せることができますのでお試しください。照明器具のセレクトに迷ったら、アーティスト作の照明を採用すれば、空間がそのままアートな雰囲気になるから不思議です。温かみのある電球やLEDなどお好みの灯りを楽しみましょう。

ペンダントライト「風車」はP4を参照ください



世界のインテリア
アメリカ編
From America

車道サイドには玄関をつくらず、わざと裏に玄関をつくることで、プライベート感を大事にしているお宅。日本のように高い塀がないので、閉塞感がなく、家全体の美しい曲面デザインをふんだんにアピールしているたたずまいです。お庭の芝生が散歩している人々を和ませてくれます。

ワシントン州の住宅街のエントランスめぐり

アメリカは西海岸の北側に位置するワシントン州。比較的治安が良く、穏やかな街シアトルの中でも、リゾート風の住宅が集まっている「海が見下ろせる地域」取材しました。どの坂道からもシアトル湾が一望できる住宅街では、様々なデザインのエントランスが楽しめ、ただ散歩しているだけでも住宅博覧会を訪れている気持ちになるほどです。

特集

玄関はとっておきの
おもてなし空間

安らぎと癒いの
美しいエントランスで
心地よくお出迎え

晩年に住みたい街No.1の美しいシアトル

カナダのバンクーバーに隣接するシアトルは、アメリカの中でも大自然に恵まれつつ、経済的にも豊かな街であることから、アメリカ人が「晩年に住みたい街」として人気が高い地域です。北海道と同じ緯度であるため、冬の寒さは厳しいですが、春夏はとても過ごしやすく、バカンスするにはもってこいのエリアです。湾を取り囲むように広がる住宅街のなかには、船着き場に別荘を持つ人々も多く、週末には自家用の船でクルージングへ繰り出します。豊富なシーフードにも恵まれ、寿司レストランも数多く見受けられます。シアトルマリナーズはもちろん、ビジネス・教育などの面で日本人にも人気の高い地域。



ドアまでの道のりを花々がお出迎え



大きな邸宅が立ち並ぶこの住宅街では、玄関ドアまでの長いみちのりを見て回ることも楽しみのひとつ。雨が少なく太陽が照る日が少ないにもかかわらず、色とりどりのお花たちが、アプローチに沿ってゲストや家族を出迎えてくれています。お手入れが行き届いているのは、ガーデニング好きな証拠。DIYショップが多いことからお庭のメンテナンスにも尽力しているようです。



塀をあえて低くした オープンスタイルで ご近所づきあい

アメリカの映画やドラマを観ていると、垣根越しに会話をする光景が見られます。その通りにも、垣根がとて低く、隣の方が芝生をメンテナンスしたりお花をいじっているのが、丸見えなのは当たり前。逆に隠しているほうが、冷たい家族と思われることもしばしばなようです。オープンにすることで近所づきあいを深くし、また庭を美しくするのを競うといった心も芽生えてくる、アメリカならではの設計です。



土足厳禁のハウスも急増中



かつては土足でベッドルームまで上がっていたアメリカ市民たちも、近年では、アジア人の習慣である“土足厳禁”の家が多く見受けられます。リビングと段差のないフラットな玄関に、自分が脱いだ靴を並べておくのがマナー。靴下もしっかり履いておきます。

スリッパを用意している家もそうでない家も様々ですが、家の中に土埃を持ち込まないことは“健康にも良い”との認識が高まっています。



車生活のアプローチ計画でおもてなし

都心以外は、ほぼ車での生活がメインであるシアトル近郊の住宅街では、“車ごと出迎える”ようなアプローチ計画が主流です。家の敷地内には、ガレージ以外に車が教台おけるような広さを十分に取って“おもてなし”できるのは、さすがアメリカならではの「路上駐車が気になる」「駐車問題で近所に迷惑をかける」ことを心配することなく、沢山のゲストを招いて、心ゆくまでパーティーすることも可能です。車の中からも



家の番地が見えやすいように、大きな数字のプレート掲げているのも、車社会ならではの工夫を感じます。もちろん夜の来客のことも考えて、番地プレートの上には、ライティングを忘れることなくおもてなししています。

カフェのようなテーブルを置いてシアトルスタイルのアプローチを楽しむ

スターバックスを代表とする、シアトル系カフェは今や世界中で親しまれているスタイル。持ち帰りのコーヒーカップに、フタをつけるアイデアも「雨が降るシアトル」ならではの発想によるものだそうです。そんなカジュアルなコーヒーを飲むスタイルを、エントランス先でも表現してみませんか。雨に濡れてもいい屋外用のカフェテーブル&チェアを用意して、お天気のいい日だけ“即席カフェ”の出来上がり。季節の花々に囲まれて、お日様の光を浴びながら、普段よりおしゃべりに花が咲くのは必至です。また夕暮れにかけてなら、アロマキャンドルを灯して、サンセットを楽しみながらのコーヒータイム。手作りのマフィンやパンケーキを用意して、お子様が学校から帰ってくるのを待つというもおしゃれです。気の置けない友人や家族を、カジュアルにおもてなしできるカフェスタイルをどうぞ。



パーティー時は、スタイリッシュなワイヤレススピーカーや動画で都会的なおもてなしを。

若い世代のご家族や、雰囲気づくりが趣味のご家庭では、音楽や動画を「おもてなし」にも上手に活用しています。両親も共に招くお子様の誕生会をはじめ、イベントを祝うパーティーには、あえて音楽の力を借りるとそれがインテリアの一部になります。そこで活躍するのが、ワイヤレスタイプのスピーカー。余計な配線がないため、まるで花瓶を置くような感覚で、スペースが限られている玄関にも飾ることができ、空気のようにBGMを流すことができます。ある時は、ゲストが大好きなジャズを流して、間接照明だけでおもてなしをすれば、ワインバーに来店したような心地いい気分になれます。また、iPadなどと接続できるスピーカーなら、お子様たちの好きなミュージックビデオを動画で流して、楽しい雰囲気でお出迎えすることも可能。人々が集まる場所へ移動できるスピーカーなら、なおさらどこでも聴覚的なおもてなしが実現します。



この商品はP4を参照ください

気になりました 気に入りました...

玄関の表情を豊かにする、素敵なお小物たち

玄関でのおもてなしに一役買う、興味深い小物ばかりを集めました。お喋りに花が咲きそうなデザインと、驚くような機能にご注目ください。

思いのままに、花を活ける、石を置く。癒しのインテリアを手軽に。

「銀雅堂 ちいさな水盤 雫影(しずか)」

小さな庭園アートを手軽に楽しめる水盤です。

富山県高岡市は鑄造・金工産業において400年の伝統を持っています。「銀雅堂」は、その伝統技術をベースに先端技術を融合させた企業が生み出したトラディショナルブランド。今回ご紹介する「ちいさな水盤 雫影(しずか)」は、花を活けるだけでなく、庭師気分ですべてを置いたり、花びらを浮かべて楽しんだり、自分だけの思いでレイアウトすれば、薄く張られた水面に映る景色が素敵なインテリアになります。すでに底についている剣山に、季節の草花を挿すだけで、癒しの和の世界を演出できます。



¥6,300-

サイズ:幅205×高さ45×奥行130mm 重さ:625g
素材:アルミ鑄物(アクリル焼付け塗装仕上げ) 生産国:日本
水盤と剣山のセットです。※この商品は「消炭色」です

COOCAN++(クウカンプラスプラス)

Tel: 06-6761-8867

www.coocan.com/netshop/

スイッチのいらない空気清浄機 「CHIKUNO CUBE チクノキューブ」

¥1,680-



竹炭はお部屋に置くだけで、空気清浄・消臭効果に加え、湿度を一定に保つ働きもしてくれます。まさに、スイッチのいらない空気清浄機です。CHIKUNO CUBE(チクノキューブ)の原料である竹は、京都・丹後半島にある竹炭工房で、職人の手によってじっくり長い時間をかけて炭になります。使用しているのは、非常に質が良いとされる京都北部の由良川水域で育った竹。六角形の孔の向こうに、しっかりと自然の土壌に伸びた竹と、職人のこだわりが透けて見えるようです。1畳につき1個がご使用の目安。シンプルなデザインは置く場所を選びませんので、用途に合わせてお使い頂

けます。臭いが気になる場所へそのまま置くのはもちろん、器に乗せて飾れば素敵なオブジェとなることでしょう。月に一度の天日干しで、竹炭はある程度効力が復活します。サイズ:幅約4.1×奥行4.1×高さ4.1(cm)
重量:約30g 生産国:日本
素材:竹炭パウダー(超微粒子炭) ビオライト、バインダー

ヤマギワオンラインストア

Tel: 03-5418-9022

shopping.yamagiwa.co.jp

インテリア雑貨cocoa

Tel: 075-213-4534

www.rakuten.co.jp/cocoa/

すっきり美しいビジュアルと音質でお出迎え 「Bowers & Wilkins / Zeppelin Air LCM」



¥69,800-

数々の賞を獲得したiPodスピーカーシステム Zeppelin(ツェッペリン)のオールインワンモデル。

コンピュータがなくても、iPhoneやiPad、iPod

Touchからドックと接続する必要無く、ワイヤレスで簡単

に音楽を再生することが可能です。しかもAppleのAirPlayテクノロジーに

対応し、Wi-Fi接続でピュアなデジタル信号が伝送されるため、音質が損なわれる事はありません。また、最先端のデジタル信号処理により、これまでで最高のサウンドを再生。iTunesライブラリの音楽を複数のZeppelin Airで同時にストリーミングすることが可能です(※最大3台まで)。その際、接続にコードは必要ありません。コンピュータとiTunesを使って、お気に入りのトラックを再生するお部屋を選択できます。

サイズ:高さ173×幅640×奥行208(mm)

重量:6.2kg

エンクロージャー:光沢ブラックおよび

ステンレス・スチール・トリム

定格出力時消費電力:100w

スタンバイ時消費電力:0.8w

I'm Home

こんにちは、ハウスプロです。

住まいをお洒落に楽しんでいただきたいと考える私たちがご提案する「コンセプトデザイン住宅」は、ワンランク上の快適な毎日のためのさまざまな工夫が凝らされています。素敵に、自分らしく、そして快適に。暮らしの中にゆとりと楽しさを見出す住まいをご提供することで笑顔をつくるお手伝いをさせていただきます。理想の我が家に対する夢やこだわりをぜひお聞かせください。



店内写真

HOUSEPRO Cafe

“ハウスプロカフェ”は、一生に一度かもしれない大切なマイホームづくりを落ち着いた雰囲気の中でリラックスして進めていただきたいという想いから生まれました。

北習志野エリア全16区画、好評分議中

分譲地ごとにデザイン性に富んだモデルハウスを建築していますので、実際に目で見て体感することが可能です。イメージを明確化した上で、フリープラン(自由設計)で希望を叶えたマイホームづくりのご提案もさせていただきます。



眺望抜群の大型スカイバルコニー。勾配天井で大空間のリビング。京成津田沼駅徒歩9分。



総武線津田沼駅利用。リビングと繋がる大型ウッドテラスとスキップフロアを採用した間取り。



パウダーコーナーを備えたホテルライクなメインベッドルーム。高根木戸駅4分の駅近も魅力。



東葉高速鉄道・新京成線「北習志野」駅から徒歩2分。専用駐車場完備、お打ち合わせスペースの横にはキッズコーナーもございますので、ぜひご家族でお越しください。お待ちしております。

住み替えしませんか?もっと心地よい暮らしに。 House Pro

ハウスプロがおすすめる暮らし方

Vol.1 屋上庭園のある暮らし

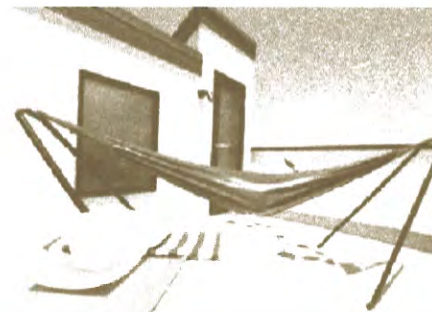
広い空の下、リゾート気分を満喫出来る屋上庭園。床材には芝やタイル、ウッドパネルで自然素材のコーディネートをし、極上のプライベート空間を演出します。草花で彩った傍らでお子様や愛犬が安全に遊び、陽の光と風を浴びながら趣味に興じ、語り、夜の帳が下りる様子を眺める...。友人や知人を招いた際のおもてなしにも最適な屋上庭園は、気軽に自然と触れ合える、豊かなライフスタイルです。

Recommendation by HOUSEPRO



当社施工写真

アウトドアを彩るアイテム



心地よい風や澄んだ星空。もうひとつのリビングとして憩いの場になる屋上では、ハンモックやガーデンチェアで居心地を上げて。オリジナルにカスタマイズするのも楽しみのひとつ。

Stylish & Smart Life Creation 住まいをお洒落に楽しもう。

センチュリー21ハウスプロ

〒274-0063

船橋市習志野台3-18-9 フラワービル1階

TEL 047-496-0001 FAX 047-496-9000

お問い合わせメールアドレス info@c21housepro.com



特選物件公開中!

ハウスプロ

